

<別紙> 情報提供様式

事例名	
「にこにこ笑顔」と「ありがとう」がいっぱいの学校をつくろうプロジェクト ～SSS も大事な「チーム湯田」のメンバーです！～	
学校名	
長浜市立湯田小学校	連絡先 0749-74-0009
取組分野(複数選択可)	
☒ 教員業務支援員(スクール・サート・スタッフ)の効果的な活用事例 ☒ その他	
直面していた課題(取組前の様子)	
来校者や架電が多く、職員室で仕事をする教頭や教務、学校事務職員がその取次に追われ、本来の業務が滞りがちな状況だった。 担任は、教員と子どもが向き合う時間を見出したいが、宿題や小テスト等の採点に時間が割かれ、子どもと一緒に遊ぶ時間やじっくり話をする時間が取れない状況だった。	
在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	参考となる写真や資料を添付
・SSS の職員室での座席を出入り口付近、インターホンや電話の対応がしやすい大机の場所とする。 ・SSS の任用当初に担当学年を決め、出勤後すぐにその学年教室に赴き、担任と短時間の打ち合わせをし、職員室の自席にて未採点のノートやプリントの丸つけ等を行う。 ・SSS 連絡ボードを活用することによって、依頼業務の見える化を工夫する。 <u>取組のポイント</u> ・SSS の座席を工夫することによって、課題 の改善ができ、コミュニケーションがとりやすい環境となり SSS の働きやすさの改善につながっている。 ・担当や業務内容について誰もが分かりやすいシステムを組むことによって、業務が頼みやすくなり、課題 が改善されつつある。教職員の業務軽減につながっている。	 「お願いします」に依頼業務の付箋を貼り、「おわりました」に付箋を貼りかえることにより、業務内容と進捗状況が一目でわかるシステムの工夫  連絡ボードにて依頼された印刷された教材プリント  SSS の座席を工夫することによって、SSS の居場所づくりと業務改善につながり、風通しのよい職員室へ
取組の成果	
・SSS が丁寧に丸つけ等をし、子ども達にフィードバックされることにより、担任が子どもに向き合う時間が増えてきている。 ・SSS も大事な「チーム湯田」の一員という意識付けがどの教員にも根付き、「お願いします」「ありがとうございました。」の言葉と笑顔が行き交う学校となりつつある。 <u>成果のポイント</u> ・時間の余裕が心の余裕を生み出す。 ・笑顔と感謝により、教員も子どももさらに心の余裕をもつことができる。	